

事業評価調書（新規）

事務所名 (課名)	農林水産部農林水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 二位 孝夫 (課長補佐兼県営ほ場整備係長 鈴木 敏亮)	内線	4003 (4014)
--------------	---------------------	---------------------	--------------------------------------	----	----------------

事業種目	用排水路 整備	事業名	事業区間	総事業費	17.0 億円
		経営体育成基盤整備事業	八幡	内補償費	0.2 億円

所在地	事業採択予定年度	着工予定年度	完成予定年度
加古川市八幡町、上荘町	H19	H19	H23

事業目的	事業内容
老朽化している用排水路の更新整備等を行うとともに、営農組合への農地の利用集積を進めることにより、地域の農業生産の効率化や安定した農業経営の確立を目指すことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用水路工(パイプライン) 36.4km ・ 排水路工 5.2km ・ 暗渠排水工 14.2ha <p>負担率 [国50% 県27.5% 市11.25% 地元11.25%]</p>

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>地域農業の持続的発展のため、平成17年に設立された農事組合法人「八幡営農組合」(参加戸数642戸)が目指している、農地の利用集積や野菜・大麦等の生産拡大を支援していく必要がある。</p> <p>用排水路は昭和46～53年度のほ場整備事業で整備されて以来、30年以上が経過して老朽化が進んでおり、水管理や施設管理に多大な労力を要しているため、早急に更新していく必要がある。</p>
(2)有効性・効率性	<p>用排水路の整備により、維持管理費の節減や農作物の生産量の増加などを図ることができる。</p> <p>費用便益比(B/C) 1.18 (便益額 2,110百万円、総費用 1,785百万円)</p> <p>八幡営農組合への農地集積 現状(H17) 88.5ha (38%) 目標(H27) 160ha (69%)</p>
(3)環境適合性	<p>絶滅に瀕している種(レッドデータA)のダルマガエル等の這い上がり を考慮して、排水路に這い上がり斜路を設置する。</p> <p>種の存続基盤が脆弱な(レッドデータC)水生植物のナガエミクリの生育する排水路区間では、水生植物の維持保全に配慮した水路を整備する。</p>
(4)優先性	<p>耐用年数を経過している排水路の道路横断管(コルゲート鋼製管)は、管の破損による道路の陥没が生じるなど危険な状態にあり、住民生活の安全確保のため早急な整備が求められている。</p> <p>設立されて間もない県内最大規模の八幡営農組合の農業経営の安定化を図るため、農地の利用集積や生産規模の拡大を支援していくことが求められている。</p>